

提出順	18	発言順	18	令和元年 8月 27日 午前・午後 11時48分受領
-----	----	-----	----	-------------------------------

(2 枚中 No. /)

令和元年 8月 27 日

安曇野市議会議長 小松 洋一郎 様

安曇野市議会議員 小林 純子

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和元年安曇野市議会 9月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20分
■市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()			
担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 ■市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 ■農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 ■上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()			
質問事項	安曇野市の環境保全型農業のさらなる推進について		

質問の要旨（具体的に記載してください）

年々、「食の安全」や「環境」に対する消費者の意識は高まり、農業についても自然や環境への負荷を低減する有機農業の重要性や、有機栽培の農産物へのニーズが高まっている。安曇野市農業・農村振興基本計画にも、「有機栽培など、品質や安全性に強いこだわりを持った先駆的な農家を育成する。安全・安心な暮らしを持続させるために、環境に優しい農業に意欲的に取り組む」と明記されている。

しかし、有機栽培等の環境保全型農業への補助金 103万円に対し、苗箱施薬への助成金は昨年度 1,330 万円。本年度予算では、苗箱施薬が普及したことから 999 万円に減額したが、それでもなお金額には 10 倍近い差がある。ひるがえって、この苗箱施薬は農薬の空中散布を止めたことに始まり、効果持続性に優れたネオニコチノイド系農薬を苗作りの段階で使うことに移行してきた経過がある。有人ヘリによる農薬の空中散布が減るなか、ここ数年はラジコン無人ヘリによる空中散布が増加している。はたして、この状況が安曇野市の環境保全型農業の推進・拡大につながるか疑問である。

そこで、以下に質問する。

- 1、環境保全型農業について、国、県、安曇野市それぞれの取り組みの現状と課題は。
- 2、自然や環境への負荷を低減する有機農業の重要性が叫ばれるなか、長野県病害虫防除所、JA 等の動きはどうか。科学農薬、化学肥料等の使用量は減少しているか。
- 3、地下水、河川、水道水等の水質検査から環境保全型農業の必要性は見えてくるか。
- 4、環境保全型農業推進のさらなる取り組みについて。

提出順	18	発言順	18	令和元年8月27日 午前・午後 11時48分受領
-----	----	-----	----	-----------------------------

(2 枚中 No. 2)

令和元年 8月 27 日

安曇野市議会議長 小松 洋一郎 様

安曇野市議会議員

小林 純子

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和元年安曇野市議会 9月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	
■市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()			
担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 ■市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()			
質問事項	産業廃棄物処理施設からダイオキシン排出のおそれ		

質問の要旨（具体的に記載してください）

ダイオキシンが人の命や健康に重大な影響を与える物質であることは周知のことであり、ダイオキシン類対策特別措置法により厳しい基準により規制されている。

ところが、産業廃棄物処理施設等で使用されている燃焼型脱臭装置は、この法律の対象外となっているため、排出基準値が設定されておらずダイオキシンの排出の有無も確認できない状況にある。

そこで、以下に質問する。

- 1、安曇野市内で営業している廃棄物処理施設において、燃焼型脱臭装置からダイオキシンが排出されている可能性はあるか。
- 2、ダイオキシン排出のおそれがある場合は、市は県と連携して緊急に調査し必要な対応をすべきではないか。